

春日井東高校・高蔵寺高校からの・・・

新年が明けました。今年も塾生諸君の笑顔を目標に、自分のできる精一杯のことを責任をもってやっていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、中3生にとってははいよいよ最終的に受験校を決定する時期となりました。今、中3生は全員自分の実力を上げるため必死で頑張っています。ここ何ヶ月かでセミナー通信を通じ受験校の決め方に対していくつかアドバイスをさせていただきましたが、今回最後のアドバイスをさせていただきたいと思っております。

もともと当塾は“公立高校合格”をにらんでの指導を行っているのであって、決して上位校のみに照準をあわせているわけではありません。通知表評定を高くいただき、上位校を目指す塾生も少なからずいますが、当塾からの最多進学校は、やはり地元の高蔵寺高校です。この高蔵寺高校と、標題にもあります春日井東高校の良いところは、何と言っても自分の足で通えるというところでしょう。毎日の学校への通学に電車で片道1時間使うのか、徒歩あるいは自転車で15分だけ使うのか、ここは実は重要なポイントです。

〇〇高校へ進学したから〇〇大学へ行くことが出来る、というものではありません。どこの高校に進学したとしても、頑張らなければ結果は出ません。そして、その逆もまた言えます。まわりに流されず、きちんと努力ができたならば、高蔵寺高校からでも春日井東高校からでも、名古屋市内上位高校に進学した子と同じ大学にでも進学できるのです。むしろ、熱心に指導していただける分、その子にとっては名古屋市内高に進学しては届かなかった大学へ受かることだってあり得ます。事実、当塾の卒塾生は何人も高蔵寺高校から名古屋大学、名古屋工業大学等へ進学していますし、春日井東高校から広島大学の数学科に進学し、定理を発見した子もいます。この子たちに共通していたのは意識の持ち方で、「この高校でいい。」ではなく、「家から近いこの高校がいい。ここで自分の力を磨きたい。」とあって、あえて地元の高校を選んだというところなのです。

昨年、旭丘高校から一橋大学へと進学した卒塾生の林拓弥君が後輩へとアドバイスをよせてくれましたが、今回、もう一人の卒塾生、大阪彩さんがアドバイスをよせてくれました。彼女は高蔵寺高校から名古屋大学へと進学し、当塾でスタッフとしてバイトをしてくれていますので、塾生諸君にはおなじみだと思えます。ホームページの「塾生用コンテンツ」→「卒塾生からのアドバイス」に記載してありますので、是非ご覧頂き参考にして頂けたらと思います。